

平成30年度 第4回 八王子市社会福祉審議会地域福祉専門分科会	
日時・会場	平成30年12月25日(火) 14:00~15:30 502会議室
出席者	委員 黒岩亮子(日本女子大学) 篠原由紀子(市民委員) 添田繁實(市民委員) 堤直樹(八王子市民活動協議会) 山崎光嘉(八王子市社会福祉協議会) 山下晋矢(八王子市医師会) 山本英雄(八王子市民生委員児童委員協議会) 和田清美(首都大学東京)
	市職員 小峰福祉部長 井上福祉政策課長 立川高齢者いきいき課長 野田高齢者福祉課長 小池障害者福祉課長 一杉生活自立支援課長 米村生活福祉総務課長 田島健康政策課長 叶協働推進課長
	説明員 社会福祉法人 八王子市社会福祉協議会 大島福祉総務課長
欠席委員	小室崇司(八王子市町会自治会連合会)
次第	1. 開会 2. 議題 第3期八王子市地域福祉計画における「包括的な地域福祉ネットワーク会議」の開催について 3. 報告 「第3次八王子市地域福祉推進計画」の進捗状況について (八王子市社会福祉協議会) 4. 閉会
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1名
資料	・ 次第 【資料1】「包括的な地域福祉ネットワーク会議」概要 【資料2】第3期八王子市地域福祉計画における「包括的な地域福祉ネットワーク会議」について 【資料3】「包括的な地域福祉ネットワーク会議」イメージ図 【資料4】「第3次八王子市地域福祉推進計画」の進捗状況について ・ 意見書

会議の要旨

1. 開会

2. 議題

**第3期八王子市地域福祉計画における「包括的な地域福祉ネットワーク会議」の開催について**

事務局より【資料1】～【資料3】に沿って説明。

和田会長

ただいま、「包括的な地域福祉ネットワーク会議」について一括で説明がありましたが、皆様の御意見はいかがでしょうか。御質問でもかまいません。

黒岩委員

流れはいいと思いました。質問ですが、2点ほどお伺いします。

1点目は、平成34年に21か所の地域福祉推進拠点ができるまでの経過措置といいますか、それまでの間ほどのように運用するのでしょうか。今の段階では一つの拠点が持つ範囲が広すぎてCSWも人数が少ないので、例えば、民生委員・児童委員さんや町会自治会の方など他の方に参加していただくのでしょうか。地域を代表するという前段階に工夫が必要かなと思います。

2点目は、会議でこういうサービスがあったらいいという意見が出てきた場合、会議で政策化に向けた提案ができると地域に戻す時に説明しやすいのではないかと思います。いかがでしょうか。

井上課長

1点目につきましては、軌道に乗るまでは民生委員・児童委員さんや社会福祉法人等の協力も検討していきたいと思います。

2点目につきましては、地域に戻す時は解決事例を伝えるという形で地域の中での解決力を高めることを考えていますので、この包括的なネットワークの中では、解決策までを導き出すという会議体にしていきたいと考えています。

黒岩委員

その解決策というのが地域の実情に合わないとか、新しいものがほしいという場合は、新たなサービスを作り出すことも含むと捉えていいのでしょうか。

井上課長

この会議の基本は、既存の施策で解決できるよう課を超えた情報共有を考えていますが、新たな施策が必要であれば考えていきたいと思います。

山本副会長

新たな施策については社会福祉審議会の分科会で議論する方がいいのではないですか。

和田会長

分科会につなげるということでしょうかね。

井上課長

そうですね。このネットワーク会議では既存の機関の連携ということで、新たな施策については社会福祉審議会の分科会で議論する方がいいと思います。

山本副会長

それは検討していただきたいですね。

山下委員

ネットワーク会議についてですが、医療の分野でいいますと、八高連（八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会）というのがあります。八高連もネットワーク会議は年2回くらいです。主な内容は情報共有で、様々な職種の方と意見交換をしています。福祉の分野でももっと広いネットワーク会議があるといいと思います。

井上課長	このネットワーク会議では事前に課題設定をするので、その内容によっては固定メンバーとは別に、柔軟にメンバーを追加できるようにしたいと思います。
山下委員	八王子市では地域によって高齢化率や子供が多い地区などばらつきがあるので、もっと全市的に情報共有ができる工夫が必要ではないでしょうか。
和田会長	例えば医療系では保健所とか保健福祉センターに集約されていますが、他もありえますよね。
井上課長	このメンバーの他にもその分野のネットワークを形成する所管もあるので、その中で生じた課題をここで共有するというのは可能と考えています。
和田会長	それは【資料1】概要でいうと6(2)のことで、山下委員のおっしゃるのは固定メンバーとして様々な職種の方を入れるということでしょうか。
山下委員	固定的なメンバーにするかどうかは考え次第だと思います。様々な課題が出るとしますので、テーマを絞って会議を開くというスタイルでもいいかもしれません。
和田会長	そうだと、年2回では足りないかもしれないですね。
山本副会長	年2回と固定するより、文面として例えば「但し、緊急の場合は臨時招集」など但し書きをつけると対応しやすいと思います。
山崎委員	私も年2回というのはひっかかります。地域福祉推進拠点では日々難題課題が発生するので、それを解決しようとする半分に1回では間に合いません。
和田会長	高齢者あんしん相談センターも、代表1名が出席者になっていますが、問題の吸い上げのためには少ないのではないかと思います。
山本副会長	17あるセンターの中から誰が代表で出るのかということですよ。
井上課長	地域福祉推進拠点は21か所すべてが同じレベルではなく、その中で中核的な拠点を定める予定です。会議は中核の拠点のCSWの方がメンバーとなるのかどうか具体的には決めていませんが、会議が成立するような人数は必要と考えています。
山本副会長	中核の拠点から出るのかいくつかの拠点を代表するのか、また、その都度決めるのか固定なのか、決めなければならぬと思います。代表となると他の拠点の把握もするようになりますが、それは大変ではないでしょうか。
井上課長	今はCSW全員に出席していただくよう考えていますが、今後の展開は社協と相談していきます。
和田会長	高齢者あんしん相談センターも同様に数が必要かと思いますがどうですか。
井上課長	所管の高齢者福祉課と検討します。
山本副会長	年2回の開催の見直しはどうしますか。
和田会長	他の委員の方は、年2回という回数についてはいかがでしょうか。
黒岩委員	前段階の【資料2】3頁の枠の中の2つ目の○の3行目「各拠点の地域ネットワークへの参加」が鍵となると思いますが、おそらく内容は地域にお任せという感じですよ。緊急なことも地域の方が動きやすいので、そこがしっかりできていれば原則年2回でもいいと思いますが、地域によってはお任せでできる地域と、まだ体制が整っていない地域があると思います。

井上課長	黒岩委員のおっしゃるとおり、この全市的な会議にあたっては、前段として、拠点を核とした地域ネットワークが作られないと地域課題も上がってこないの で、こちらを優先的に取り組むべきだと思います。
黒岩委員	それは市が何か提示するというやり方ではなくて、各地域にお任せするという スタンスですか。
井上課長	地域ごとに特性がありますので、今はCSWが各地域の会議に参加して地域 特性を把握している段階で、今まさに構築を始めるところです。
添田委員	計画の中の大きな概要ではなく、地域でどういう課題が上がっているのか吸 い上げるのが大事です。介護事業者の団体が一つも入っていませんが、居宅支 援とかケアマネの支援団体は地域で非常に多くの会議を開いています。年2回 ではとても足りないと思います。
井上課長	ここでいう年2回というのは全市的な会議なので、拠点を核とした地域のネ ットワーク会議の方は、課題があるその都度開催でいいと思います。
和田会長	年2回というのは変える余地はあるのですか。
小峰部長	回数については柔軟に対応します。
和田会長	では、先ほどのとおり但し書きを入れるということをお願いします。
山本副会長	この下で地域ケア会議が行われていますが、もっと充実を図って全市的なネ ットワーク会議につなげるといいと思います。
山下委員	追加として、可能であればこの会議の議論についてデータベース化して、他 の地区が解決策を調べたり事例を蓄積して運用できるといいと思います。
井上課長	重要だと思います。積み重なっていくことによって地域の解決が図られると 思います。
和田会長	「役割」とか「事項」として入れておくとよいでしょうか。
山本副会長	絵の方に入れておく方がいいでしょうか。
堤委員	【資料3-1】の絵ですが、計画の方では地域ネットワークが上になってい ますが、今日の資料は上下逆になっています。地域福祉推進拠点と専門的機関 をつなぐのが包括的なネットワークということでしょうか。
井上課長	今日の資料は会議の内容をわかりやすくするために作ったものですので、議 題である会議を上に出しました。地域からの課題を吸い上げて解決に導くとい うことに変わりありません。
堤委員	その範囲がはっきりしていないと理解できにくいかと思ってお聞きした次第 です。
黒岩委員	このネットワーク会議は何が目的かと考えた時に、色々な専門的機関が制度 の情報や意見を持ち寄って解決するのだということを明確にした方がいいと思 います。制度の狭間の問題とか家族の抱える多問題とかがCSWの真骨頂で、 一つの機関では解決しない問題として課題があるので、だからこそ専門的機関 が集まるのだということをどこかに書いておかないと、あれもこれもという会 議になってしまうと思います。
和田会長	事項のどこかとかでしょうか。

黒岩委員 和田会長 井上課長	<p>「制度の狭間などの」とか一言入れるだけでもイメージができると思います。他にはいかがでしょうか。</p> <p>いろいろと御意見が出てきましたので、整理されるといいと思います。</p> <p>皆様の御意見を反映して事務局の方で整理させていただきます。最終的な要綱等を確認いただくのは、新たに会議を開いた方がいいのでしょうか。それとも正副会長の承認でよろしいのでしょうか。</p>
和田会長 各委員 和田会長	<p>皆様、どちらがよいのでしょうか。承認でよろしいのでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>ではそのように進めていただければと思います。他にはいかがですか。</p> <p>ないようですので次にうつります。</p>
	<p><b>3. 報告</b></p> <p><b>「第3次八王子市地域福祉推進計画」の進捗状況について</b></p> <p>八王子市社会福祉協議会大島福祉総務課長より【資料4】に沿って説明。</p>
和田会長	<p>「第3次八王子市地域福祉推進計画」の策定状況について説明をいただきましたが、御質問などありますでしょうか。</p>
山本副会長	<p>【資料4】7頁の「情報交換会（ネットワーク会議）」が【資料3-1】に書いていないので書いておいてください。ここでのことが吸い上げられるということがわかるようにしてほしいと思います。</p>
井上課長	<p>地域によってこの会議体があったりなかったりするので、広い意味で「地域ネットワーク」としたところでは。</p>
山本副会長	<p>ネットワークだと「つながり」だけなので、会議体があることを社協と連動すべきだと思います。</p>
井上課長 和田会長 大島課長	<p>この【資料3-1】は今日の会議のための資料なので考え方だけ整理します。</p> <p>【資料4】6頁の「相談窓口」をもう少し説明していただけますか。</p> <p>社会福祉法人の地域公益活動の取り組みです。具体的には、施設の窓口を「なんでも相談窓口」として設置してもらい、そこで情報を共有しながら、困難事例等についてはCSWが関わりをもちつつ解決に導くというものです。まだ協議中なので明確な形は出せませんが、施設長会さんと保育園協会さんにはおおむね理解を得ていてあとは中身というところです。</p>
和田会長 黒岩委員	<p>他に何かございますか。</p> <p>【資料4】8頁9頁の居場所づくりについて、立上げ支援とはどのような具体的な行動をとられるのでしょうか。</p>
大島課長	<p>サロン活動などをする地域の活動者がいますので、社協だよりなどで参加を呼びかけするというアプローチを考えています。</p>
黒岩委員	<p>今までの方法で増えてきたということで、それを強化するということであって、新しく立上げではないということですね。わかりました。</p>
和田会長	<p>成果としては何があげられますか。</p>

